

後援：いわき市・いわき市教育委員会

身近な放射能汚染を考える

今中哲二 講演会

たらちね測定報告会

2020年2月29日(土)

12:30開場 13:00開演～16:00終了予定

場所：いわき市労働福祉会館

東京電力福島第一原子力発電所の事故からまもなく9年経とうとしています。
放射能は目に見えない、感じない、におわない環境汚染です。それゆえに、年月が経つと共に社会の中の関心は薄れ、汚染が無くなったかのように感じられることもありますが、人々の意識とは裏腹に今も汚染は続いています。
その中で、可視化できる唯一の方法である測定を行い、汚染の実態を把握することは、子どもたちを守ることに繋がっていきます。

今回はたらちねの2019年の1年間の活動報告をはじめ、『身近な放射能汚染を考える』と題し、今中哲二先生の講演会を開催いたします。この地で暮らすために大切なことを考えていきたいと思いをします。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2020年2月29日(土) 12:30開場 13:00開演～16:00終了予定

場所：いわき市労働福祉会館

〒970-8026 いわき市平字堂ノ前22

参加費：無料

駐車場：労働福祉会館の駐車場（16台）が満車の場合は、公共施設駐車場をご利用ください。
市役所本庁舎正面玄関前平年金事務所東側と市役所本庁舎南側新川手前立体駐車です。

第1部 たらちね測定報告会

ガンマ線・ベータ線測定結果、ホールボディカウンター、甲状腺検診プロジェクト
たらちね・こども保養相談所、たらちねクリニック、あとリエたらちね『ワルンペ』、『シルピリカ』

第2部 今中哲二 講演会 『身近な放射能汚染を考える』

今中哲二(いまなか てつじ)プロフィール

2016年3月京都大学を定年退職し、現在京都大学複合原子力科学研究所研究員。

専門は原子力工学。大学院時代より日本の原子力開発の在り方に疑問をもちはじめ、研究者としては、原子力を進めるためではなく原子力利用にともなうデメリットを明らかにするというスタンスでの研究を行ってきた。広島・長崎原爆による放射線被曝量の評価、チェルノブイリ原発事故影響の解明、セミパラチンスク核実験場周辺での放射能汚染の現地調査などに従事。2011年3月の福島第一原発事故以降はもっぱら福島の問題に専念。



【主催/問い合わせ】

認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね/たらちねクリニック
〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階
TEL 0246-92-2526 FAX 0246-38-8322
✉ tarachine@bz04.plala.or.jp

